日 程

9月16日（金）・17（土）　公開マスタークラス
※各団体70分のレッスンを３人の講師それぞれに受講する（時間割は右記の通り）
11:00開演　（10:45開場）　※20:05頃終了予定　入場無料

＊ 講師・審査員紹介 ＊

原田 禎夫（元東京クヮルテットメンバー／チェロ）

東京クヮルテットの創設メンバーとして30年間同カルテットを率い、世界各地で演奏。99年に退団後は、ソリスト、室内楽、オーケストラなど幅広く活躍。NHK交響楽団、新日本フィルハーモニー、札幌交響楽団などにソリストとして出演、ピンカス・ズッカーマン、ジュリアード・カルテット、アルバン・ベルク・カルテット、ジェシー・ノーマンらと共演。その他サイトウ・キネン・オーケストラに定期的に出演。水戸室内管弦楽団のメンバーも務める。後進の指導で高い評価を受け、小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、スイス室内楽アカデミー、北京室内楽講習会など世界各地で指導にあたる。上野学園大学音楽学部教授。

ヴァーツラフ・レメシュ（元プラジャーク四重奏団メンバー／ヴァイオリン）

1952年、チェコのウスチ・ナッド・ラベム生まれ。15歳でプラハ・コンセルヴァトワールに入学しマリー・ヴォルダノーヴァに師事する。その後プラハ音楽院にてプラハ弦楽四重奏団のメンバー、ブルジェティスラフ・ノボトニーの指導を受ける。1972年にプラハ音楽院のメンバーによりプラジャーク四重奏団を結成。1978年、エヴィアン（現ボルドー）国際弦楽四重奏コンクール優勝。以来結成から約30年間に渡り、第１ヴァイオリンを務め、世界各国で演奏。ヨゼフ・スーク、メナヘム・プレスラーなど多くの世界的なアーティストと共演を重ね、多数のCDをリリース。そのいくつかは欧州各国のレコード誌上で高く評価されている。2007年、2009年と宗次ホールに来演。2010年、同団を引退し、現在はプラハを拠点に教育活動に精力的に取り組んでいる。

百武 由紀（愛知県立芸術大学教授／ヴィオラ）

東京藝術大学付属高校を経て、同大学卒業、及び大学院修了。井上武雄、浅妻文樹、ウィリアム・プリムローズ、セルジュ・コローの各氏に師事。1999年まで東京都交響楽団に在籍し、首席奏者を務める。国内外の音楽祭にゲストとして多数出演。2006年、ヴァイオリンの大谷康子、齋藤真知亜、チェロの苅田雅治とともに「クァトロ・ピアチェーリ」を結成し、王子ホールを拠点にショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全曲演奏プロジェクトを継続中。特に昨年の第９回定期演奏会の成果により文化庁芸術祭大賞を受賞した。2009年より毎年同団の名古屋公演を宗次ホールにて開催。現在愛知県立芸術大学教授。東京藝術大学、東京音楽大学講師。

9月18日（日）　宗次ホール弦楽四重奏コンクール
11:00開演　（10:30開場）　※終演18:25頃
料金　2,000円（全8団体出場予定）
※全団体の演奏終了後、審査結果の発表と表彰を行います。（19:30開始予定）

	9月16日（金）マスタークラス	9月17日（土）マスタークラス	9月18日（日）コンクール
	ステージ（公開クラス） リハーサル室（非公開クラス） ※２会場同スケジュール		
10:00			
	10:45開場	10:45開場	10:30開場
11:00	11:00 12:10	11:00 12:10	11:00 11:45
12:00	15分休憩	15分休憩	11:45 12:30
	12:25 13:35	12:25 13:35	45分休憩
13:00			13:15 14:00
14:00	55分休憩	55分休憩	14:00 14:45
	14:30 15:40	14:30 15:40	20分休憩
15:00	15分休憩	15分休憩	15:05 15:50
16:00	15:55 17:05	15:55 17:05	15:50 16:35
17:00	25分休憩	25分休憩	20分休憩
	17:30 18:40	17:30 18:40	16:55 17:40
18:00	15分休憩	15分休憩	17:40 18:25
19:00	18:55 20:05	18:55 20:05	19:30 表彰式
20:00			

募 集 概 要

＊ 応募条件 ＊
- ・編成は弦楽四重奏（ヴァイオリン２＋ヴィオラ＋チェロ）とする。
- ・このコンクールに参加するために結成されたカルテットも可とする
- ・メンバーの平均年齢が35歳以下であること。
- ・２日間のマスタークラスに参加し３名の審査員（講師）のレッスンを全て受講できること。

＊ 選　曲 ＊
- ・演奏時間は全体で45分間以内を厳守。
- ・［課題曲］ 右記36曲の中から１曲を選び全曲を演奏する。第１楽章の提示部の繰り返しは行わない。
- ・［自由曲］ ハイドン以外の弦楽四重奏曲より、課題曲と合計して演奏時間が45分以内となるよう任意の楽曲を選び、演奏する。時間を超過する場合は、一部楽章を抜粋して演奏する。（１つの楽章の中で演奏を割愛することは認めない。）

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン作曲

ロシア四重奏曲 作品33 Hob.III-37〜42（6曲セット）
プロシア四重奏曲 作品50 Hob.III-44〜49（6曲セット）
第１トスト四重奏曲 作品54 Hob.III-57〜59（3曲セット）
第２トスト四重奏曲 作品55 Hob.III-60〜62（3曲セット）
第３トスト四重奏曲 作品64 Hob.III-63〜68（6曲セット）
第１アポーニー四重奏曲 作品71 Hob.III-69〜71（3曲セット）
第２アポーニー四重奏曲 作品74 Hob.III-72〜74（3曲セット）
エルデーディ四重奏曲 作品76 Hob.III-75〜80（6曲セット）

コンクール

- ● ３名の審査員は課題曲、自由曲それぞれに採点。（10点満点で。）審査の結果を元に第１位から第３位の入賞団体と、課題曲の演奏で最も優れた１団体に対してハイドン賞を授与する。
- ● 聴衆による投票（良いと思った団体を２つ選択する方法）により聴衆賞を設ける。投票は全ての団体を聴いたお客様のみが参加できる。
- ● 宗次ホール代表、宗次徳二より１団体に宗次オーナー賞を授与する。

＊ 賞金 ＊ ☆第１位=50万円　第２位=30万円　第３位=20万円
☆ハイドン賞、聴衆賞、宗次オーナー賞＝各５万円

＊ 特典 ＊ ※１位〜３位の入賞団体には次回コンクールまでの間で宗次ホールを無償で練習場所として提供する。（ただしホールでの催事が無い日時に限る。）
※順位を問わず、出場した団体には今後宗次ホールでの出演の機会を与え得る。

キリトリ

応 募 方 法

下記①〜③の３点の必要書類を **2016年5月31日（火）必着** で宗次ホールまでご郵送下さい。

［必要書類・資料］ ① 応募用紙（本紙両面）
② 録音（メディアはCD-Rに限る）
③ 団員写真（メディアはCD-Rに限る。画質の良いもの）

［郵送先］ **宗次ホール 弦楽四重奏コンクール係**
〒460-0008
名古屋市中区栄4-5-14　TEL 052-265-1715

① 応 募 用 紙 （各項目にご記入下さい）

団 体 名 ※読み方もご記入ください	
団体プロフィール・PR ※別紙でも可	代表者氏名 [　　]
団員プロフィール 1st ヴァイオリン	ふりがな 氏 名　　連絡先電話番号 生年月日　　年　月　日（年齢　　歳）　メールアドレス ふりがな 住 所　〒　- 音楽歴（卒業、もしくは在籍教育機関名、現在の活動、受賞歴など）
団員プロフィール 2nd ヴァイオリン	ふりがな 氏 名　　連絡先電話番号 生年月日　　年　月　日（年齢　　歳）　メールアドレス ふりがな 住 所　〒　- 音楽歴（卒業、もしくは在籍教育機関名、現在の活動、受賞歴など）
団員プロフィール ヴィオラ	ふりがな 氏 名　　連絡先電話番号 生年月日　　年　月　日（年齢　　歳）　メールアドレス ふりがな 住 所　〒　- 音楽歴（卒業、もしくは在籍教育機関名、現在の活動、受賞歴など）
団員プロフィール チェロ	ふりがな 氏 名　　連絡先電話番号 生年月日　　年　月　日（年齢　　歳）　メールアドレス ふりがな 住 所　〒　- 音楽歴（卒業、もしくは在籍教育機関名、現在の活動、受賞歴など）